

グローバルCBオープン

●高金利通貨コース ●円コース

追加型投信／海外／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

（マネーパールファンド）

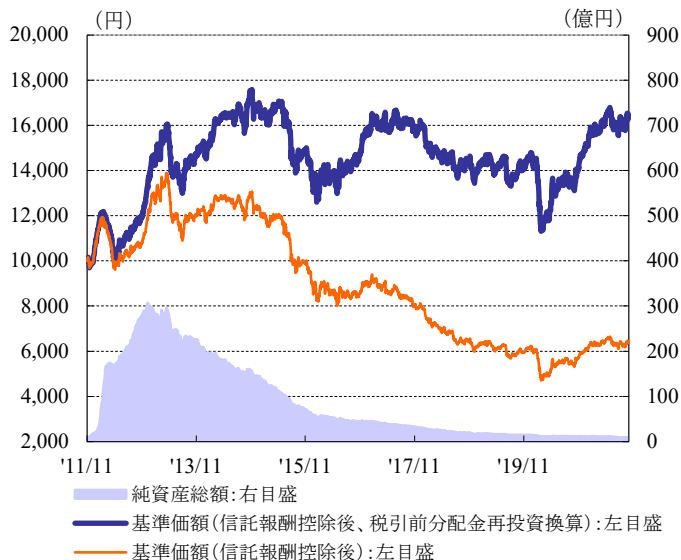
追加型投信／国内／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

2021年10月末現在

グローバルCBオープン・高金利通貨コースの運用実績

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日（2011/11/30）～2021/10/29



◆基準価額・純資産総額

基準価額	6,401円
純資産総額	8億円

◆分配金推移

決算	分配金
第107期('20/11)	20円
第108期('20/12)	20円
第109期('21/1)	20円
第110期('21/2)	20円
第111期('21/3)	20円
第112期('21/4)	20円
第113期('21/5)	20円
第114期('21/6)	20円
第115期('21/7)	20円
第116期('21/8)	20円
第117期('21/9)	20円
第118期('21/10)	20円
設定来	8,785円

※決算は、毎月19日です（休業日の場合は、翌営業日）

※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	2.2%
3ヵ月	1.9%
6ヵ月	1.3%
1年	24.5%
3年	15.9%
5年	11.5%
設定来	63.8%

◆グローバルCBオープン・高金利通貨コースの資産構成

組入資産	比率
Global Convertible Bond Fund AUD Class（豪ドル クラス）	36.2%
Global Convertible Bond Fund BRL Class（ブラジルリアル クラス）	30.1%
Global Convertible Bond Fund INR Class（インドルピー クラス）	31.6%
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	0.1%
短期金融商品等	2.1%
合 計	100.0%

※比率は純資産総額対比

※比率の合計は100%にならない場合があります

◆基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2021年10月
基準価額騰落額	+121 円
分配金	-20 円
為替要因	豪ドル +136 円 ブラジルリアル -33 円 インドルピー +13 円
債券要因	インカムゲイン +7 円 キャピタルゲイン +30 円
信託報酬等	-12 円

※上記の要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値です

<ご参考>（高金利通貨）

為替取引によるプレミアム/コスト	3.2%
------------------	------

※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出（組入通貨で均等配分）したものであり、実際の運用における数値とは異なります

※基準価額推移のグラフにおける基準価額（信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算）およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
※分配金は1万口あたりの金額（税引前）※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

グローバルCBオープン

●高金利通貨コース ●円コース

追加型投信／海外／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

（マネープールファンド）

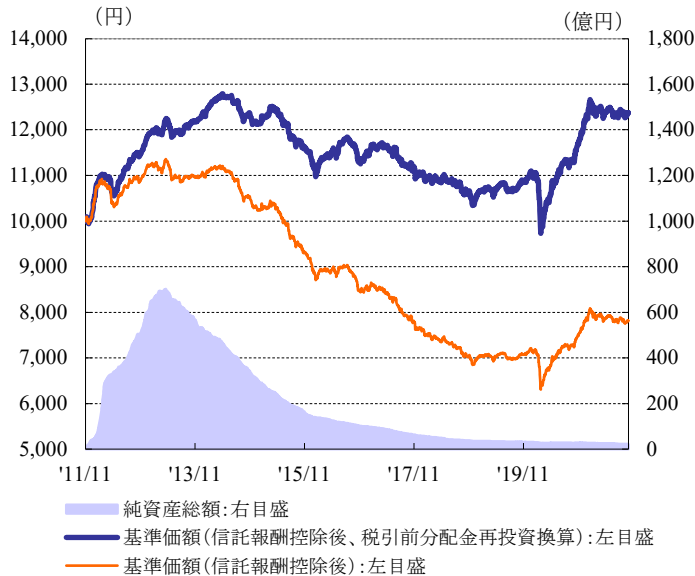
追加型投信／国内／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

2021年10月末現在

グローバルCBオープン・円コースの運用実績

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日（2011/11/30）～2021/10/29



◆基準価額・純資産総額

基準価額	7,815円
純資産総額	21億円

◆分配金推移

決算	分配金
第107期('20/11)	10円
第108期('20/12)	10円
第109期('21/1)	10円
第110期('21/2)	10円
第111期('21/3)	10円
第112期('21/4)	10円
第113期('21/5)	10円
第114期('21/6)	10円
第115期('21/7)	10円
第116期('21/8)	10円
第117期('21/9)	10円
第118期('21/10)	10円
設定来	4,280円

※決算は、毎月19日です(休業日の場合は、翌営業日)

※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	0.4%
3ヵ月	0.6%
6ヵ月	-1.1%
1年	9.3%
3年	16.9%
5年	6.2%
設定来	23.7%

◆グローバルCBオープン・円コースの資産構成

組入資産	比率
Global Convertible Bond Fund JPY Class (円 クラス)	97.6%
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	0.0%
短期金融商品等	2.3%
合 計	100.0%

※比率は純資産総額対比
※比率の合計は100%にならない場合があります

◆基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2021年10月
基準価額騰落額	+19 円
分配金	-10 円
為替要因(為替ヘッジコスト等)	-2 円
債券	インカムゲイン +8 円
要因	キャピタルゲイン +38 円
信託報酬等	-15 円

※上記の要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値です

<ご参考> (円)

為替取引によるプレミアム/コスト	0.1%
------------------	------

※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

信託期間（2011/11/30～2021/11/19）

月次開示資料

グローバルCBオープン

(3/13)

●高金利通貨コース ●円コース

追加型投信／海外／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

（マネープールファンド）

追加型投信／国内／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

2021年10月末現在

運用状況 グローバルCBオープン・高金利通貨コース、円コースが投資している
「グローバル・コンバーティブル・ボンド・ファンド」(Global Convertible Bond Fund)の運用状況

◆資産特性

デュレーション	2.66年
平均格付け	BB
最終利回り	1.6%
デルタ	0.28

※ファンドの最終利回りは実際の投資家利回りとは異なります

※デュレーションとは「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標です。「金利変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、この値が長いほど金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります

※平均格付けとは、基準日時点で当ファンドが保有している有価証券に係る信用格付けを加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付けではありません

※デルタとは転換社債(CB)価格の変化率を株価の変化率で割ったもので、この数値が1.0に近いほど、CB価格と株価の連動性が高いことを示します

◆国・地域別構成

国・地域名	比率
米国	14.1%
中国	12.5%
フランス	8.6%
ロシア	7.1%
ドイツ	7.1%
オーストラリア	6.9%
カメルーン	4.8%
その他	25.9%
短期金融商品等	13.0%
合計	100.0%

◆業種別構成

種別	比率
ソフトウェア・サービス	15.7%
メディア・娯楽	10.5%
不動産	7.7%
小売	6.7%
素材	6.0%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.9%
ヘルスケア機器・サービス	4.8%
その他	30.6%
短期金融商品等	13.0%
合計	100.0%

◆格付別構成

格付け	比率
AAA	0.0%
AA	0.0%
A	7.9%
BBB	10.4%
BB	35.8%
B	32.9%
CCC以下	0.0%
NR	0.0%
短期金融商品等	13.0%
合計	100.0%

※比率の合計は100%にならない場合があります

<組入銘柄数 53 銘柄>

◆組入上位銘柄

	銘柄	国・地域	格付け	クーポン	償還日	業種	銘柄概要	組入比率
1	ゴラールLNG (GOLAR LNG LTD)	カメルーン	B+	2.750%	2022/2/15	エネルギー	液化天然ガスインフラ運営会社。総合的な中流の液化天然ガスサービスプロバイダーとして、資源保有者、ガス生産者、および消費者を支援する。	4.8%
2	陌陌科技 (HELLO GROUP INC)	中国	BB+	1.250%	2025/7/1	メディア・娯楽	システム開発会社。モバイル用のソーシャル・ネットワーク・プラットフォームを開発する。ユーザーは所在地や興味に基づき、社会的つながりを確立・拡大できる。中国国外で事業を展開。	4.7%
3	コリアン (KORIAN SA)	フランス	BB-	0.875%	2027/3/6	ヘルスケア機器・サービス	ヘルスケア施設・医療機関の運営会社。老人ホーム、リハビリセンターなどを手掛ける。フランスで事業を展開する。	4.3%
4	ニュー・レリック (NEW RELIC INC)	米国	B+	0.500%	2023/5/1	ソフトウェア・サービス	IT関連会社。クラウドおよびデータセンター向けにクラウドベースのアプリケーション・パフォーマンスを管理するソリューションを手掛ける。米国で事業を展開。	3.9%
5	ファイア・アイ (MANDIANT INC)	米国	B+	1.625%	2035/6/1	ソフトウェア・サービス	対マルウェア防御システムやネットワーク攻撃阻止ソリューションを提供。ウェブセキュリティ、Eメールセキュリティ、ファイルセキュリティ、マルウェア分析を手掛ける。米国内で事業を展開。	3.8%
6	メール・ドット・ルー・グループ (MAIL RU GROUP LTD)	ロシア	BB-	1.625%	2025/10/1	メディア・娯楽	インターネット会社。ロシアでインターネット接続サービスを提供する。ソーシャル・ネットワーク・ウェブサイト、インスタントメッセージ・ネットワーク、オンラインゲーム会社の運営も手掛ける。	3.6%
7	エボニック・インダストリーズ (RAG-STIFTUNG)	ドイツ	A	0.000%	2024/10/2	素材	特殊化学品メーカー。消費財、動物栄養補給剤、医薬品の分野で、さまざまな製品を提供する。	3.6%
8	ボルタリア (VOLTALIA SA)	フランス	B	1.000%	2025/1/13	公益事業	電力会社。代替資源発電に従事。フランス、ガイアナ、ブラジルで水力・風力・バイオマスによる発電を手掛ける。	3.5%
9	オゾン・ホールディングス (OZON HOLDING PLC)	ロシア	B	1.875%	2026/2/24	小売	オンライン小売業者。ロシアの電子商取引市場において最先端のeコマースプラットフォームを運営する。	3.5%
10	C I M B グループ・ホールディングス (CERAH CAPITAL LTD)	マレーシア	A-	0.000%	2024/8/8	銀行	商業銀行。商業銀行・関連金融業務に従事する。子会社と共に、地方銀行としてさまざまな金融商品およびサービスを提供する。主な業務は、コーポレートバンキング、投資銀行業、リテール銀行業、トレジャーなど。	3.3%

※格付けは、原則、S&P、Moody's、Fitchの格付けを採用。複数社の格付けがある場合は、原則として高い方を採用。格付機関による格付けがない場合は、ブルーベイ・アセット・マネジメント・エルエルピーによる格付け ※格付け記号の表記に当たっては、S&Pの表記方法で統一し掲載しています ※格付別構成については、+、-の符号は考慮せず掲載しています ※比率はすべて純資産総額対比 ※ブルーベイ・アセット・マネジメント・エルエルピー提供データより作成

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

グローバルCBオープン

●高金利通貨コース ●円コース

追加型投信／海外／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

（マネープールファンド）

追加型投信／国内／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

2021年10月末現在

マーケットコメント

【市場動向】

10月は、米国企業の良い決算内容を背景に、株式市場が最高値を更新するなど、リスク資産は堅調な動きとなりました。インフレや主要中央銀行のテーパリング（量的緩和の段階的縮小）への懸念から、米国金利は上昇したものの、グローバルCB市場は堅調でした。

経済指標では、米国雇用統計は市場予想を大きく下回ったものの、前月分が上方修正されたことで、11月のテーパリング開始には十分な内容と判断されました。米インフレ率も上昇が続き、FRB（米連邦準備制度理事会）の金融政策に影響をもたらすことから、引き続き市場の注目が集まるとみられます。

ECB（欧州中央銀行）政策理事会で、ラガルドECB総裁は来年の利上げを期待する市場を強くけん制しました。2022年3月に予定されるPEPP（パンデミック緊急購入プログラム）の終了と同時に、その他のプログラムで買い入れ額が増額されるかは12月の政策理事会で議論される見通しです。

【運用状況】

為替市場では、インドルピーおよび豪ドルは円に対して上昇した一方で、ブラジルレアルは円に対して下落しました。当ファンドが投資している外国投資信託「グローバル・コンバーティブル・ボンド・ファンド」の騰落率は、豪ドルクラスは+6.98%、インドルピークラスは+1.06%、円クラスは+0.42%、ブラジルレアルクラスは-1.33%となりました。

10月は、中国のシステム開発会社である陌陌科技の保有が大きく貢献しました。テクノロジー企業や米国市場に上場する企業に対する引き締め強化を受けて、年初来で軟調な動きとなっていました。10月は反発がみられました。また、米国のIT（情報技術）関連会社であるニュー・レリックの保有もプラスに寄与しました。ソフトウェア関連銘柄が全体的に堅調な動きとなったほか、クラウドサービスへの需要増加などを背景にアナリストが投資判断を引き上げたことで、CB価格が上昇しました。一方、バイオ医薬品メーカーであるレバンス・セラピューティクス（Lenvo）の保有がマイナスに作用しました。従前から規制当局から管理プロセスが不十分という指摘を受けていたものの、経営陣は主要治療薬の承認に影響は出ないと考えていました。しかし10月末に予想外に規制当局が承認を拒否したことで、CB価格は下落しました。

当ファンドは、2021年11月19日に満期償還となります。皆さまのこれまでのご愛顧に御礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引き立て賜りますよう、お願い申し上げます。

※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、運用担当者（ファンドマネジャー他）の見方あるいは考え方を記載したもので当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません。※ブルーベリ・アセット・マネジメント・エルエルビー提供データにより作成

《ご 参 考》

世界の転換社債（CB）の推移（米ドルベース）



※世界の転換社債（CB）は、Thomson Reuters Global Vanilla Convertible Bond Index（米ドルベース）の推移

※上記は過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

グローバルCBオープン

●高金利通貨コース ●円コース

追加型投信／海外／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

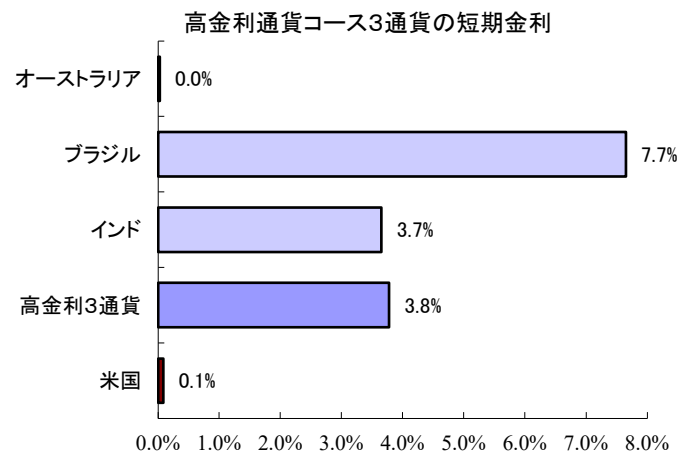
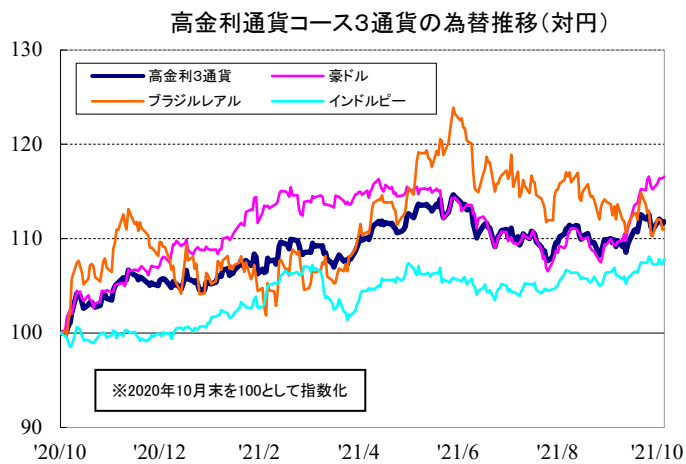
（マネーパールファンド）

追加型投信／国内／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

2021年10月末現在

《ご参考》
為替レートおよび短期金利推移

※グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません



※各通貨を2020年10月末を100として指数化

※「高金利通貨コース3通貨」は、豪ドル、ブラジルレアル、インドルピーの各データを平均して算出したもの

※上記グラフは一定の条件の下、過去の実績から算出した値であり、当ファンドの運用成果等について何らかの示唆あるいは約束をするものではありません

※米国の短期金利は1ヵ月「LIBOR」、オーストラリアの短期金利は1ヵ月「スワップ・レート」、ブラジルの短期金利は1ヵ月「預金金利先物」、インドの短期金利は1ヵ月「InterBank Offered Rate」

※「高金利通貨コース3通貨」の短期金利は、上記グラフで使ったオーストラリア、ブラジル、インドの短期金利を単純平均したもの

出所:ブルームバーグのデータに基づき三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

グローバルCBオープン

●高金利通貨コース ●円コース

追加型投信／海外／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

（マネープールファンド）

追加型投信／国内／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

各コース（マネープールファンドを除く）の目的

当ファンドは、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

各コース（マネープールファンドを除く）の特色

1. 新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等へ実質的に投資することでインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。
2. 為替取引手法の異なる2つの通貨コースとマネープールファンドがあり、各ファンド間でスイッチングが可能です。
3. 毎月の決算日に、原則として分配を目指します。
 - ・各コースの決算日は、毎月の19日（休業日の場合は翌営業日）とします。
 - ・委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

**各コース（マネープールファンドを除く）の投資リスク
（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）**

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■転換社債（CB）投資のリスク（価格変動リスク・金利変動リスク・信用リスク） ■流動性リスク

■為替リスク ■カントリーリスク

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

グローバルCBオープン

●高金利通貨コース ●円コース

追加型投信／海外／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

（マネーボールファンド）

追加型投信／国内／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

下記は投資信託における「分配金に関する留意事項」を説明するものであり、当ファンドの分配金額や基準価額を示すものではありません。

分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



(イメージ図)

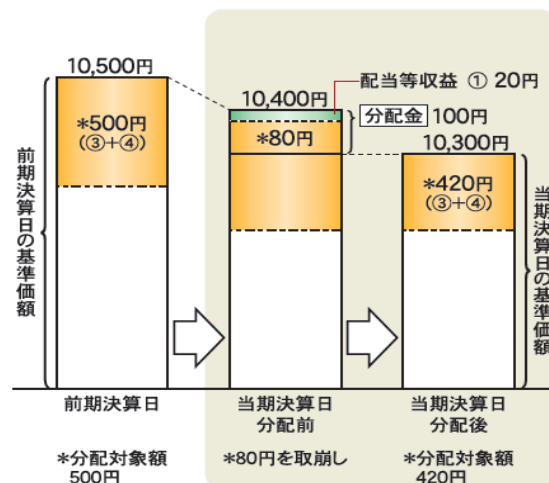
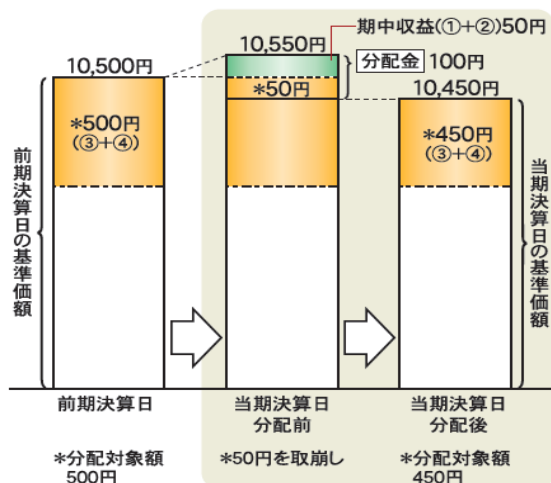
分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配金が計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

(イメージ図)

前期決算日から基準価額が上昇した場合

前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益 および ②経費控除後の評価益を含む売買益 ならびに ③分配準備積立金 および ④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

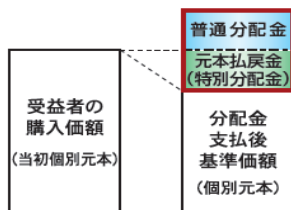
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

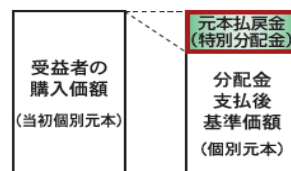
(イメージ図)

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。



普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

グローバルCBオープン

●高金利通貨コース ●円コース

追加型投信／海外／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

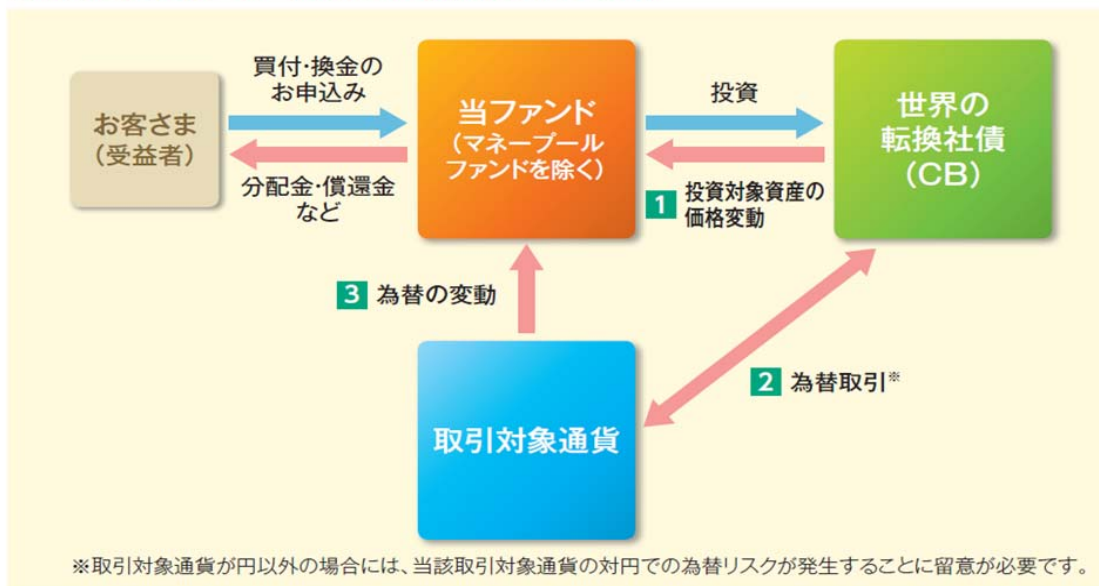
（マネープールファンド）

追加型投信／国内／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

当ファンド（マネープールファンドを除く）は主に世界の転換社債（CB）への投資に加えて、為替取引を活用して運用を行うよう設計された投資信託です。

●当ファンド（マネープールファンドを除く）のイメージ図



●当ファンド（マネープールファンドを除く）の収益の源泉は以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益の源泉に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

収益の源泉	収益を得られるケース	損失やコストが発生するケース
II 1 世界の転換社債（CB）の利息収入、値上がり／値下がり	転換社債（CB）価格の上昇 転換対象株式の株価上昇 金利低下 発行体の信用力上昇 など	転換社債（CB）価格の下落 転換対象株式の株価下落 金利上昇 発行体の信用力低下 など
+ 2 為替取引によるプレミアム／コスト	プレミアム（金利差相当分の収益）の発生 取引対象通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利	コスト（金利差相当分の費用）の発生 取引対象通貨の短期金利 < 米ドルの短期金利
+ 3 為替差益／差損	為替差益の発生 取引対象通貨に対して円安	為替差損の発生 取引対象通貨に対して円高

※円コースは、原則として対円での為替取引を行い為替変動リスクの低減に努めます。

※過去の事実から見た一般的な傾向を表したものであり、上図のとおりにならない場合があります。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

信託期間（2011/11/30～2021/11/19）

月次開示資料

(9/13)

グローバルCBオープン

●高金利通貨コース ●円コース

追加型投信／海外／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

（マネープールファンド）

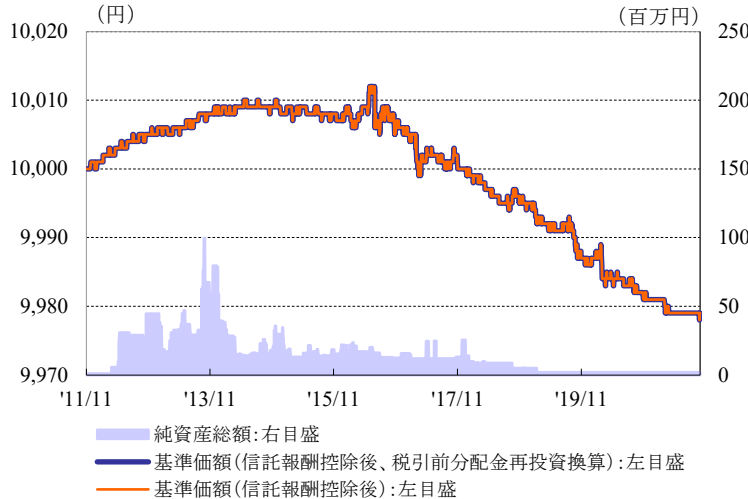
追加型投信／国内／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

2021年10月末現在

マネープールファンドの運用実績

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日（2011/11/30）～2021/10/29



※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります ※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

◆基準価額・純資産総額

基準価額	9,979円
純資産総額	2.0百万円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	0.0%
3ヵ月	0.0%
6ヵ月	0.0%
1年	-0.0%
3年	-0.2%
5年	-0.3%
設定来	-0.2%

◆分配金推移

決算	分配金
第14期('18/11)	0円
第15期('19/5)	0円
第16期('19/11)	0円
第17期('20/5)	0円
第18期('20/11)	0円
第19期('21/5)	0円
設定来	0円

※決算は、5月、11月の19日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

◆資産構成

組入資産	比率
キャッシュ・マネージメント・マザーファンド	97.5%
短期金融商品等	2.5%
合計	100.0%

※比率の合計は100%にならない場合があります

マネープールファンドの資産内容(キャッシュ・マネージメント・マザーファンド)

◆キャッシュ・マネージメント・マザーファンドの種別構成

種別	比率
国債	0.0%
地方債	0.0%
特殊債	45.2%
社債	20.6%
短期金融商品等	34.2%
合計	100.0%

日銀の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」導入に伴い、残存1年未満の国債・政府保証債の市場利回りはマイナス圏で推移しています。これを踏まえ、マイナス利回りの債券についても購入および保有する場合があります。

◆キャッシュ・マネージメント・マザーファンドの組入上位銘柄

	銘柄	種別	組入比率
1	31 政保地方公共団	特殊債	10.3%
2	15 中部国際空港	特殊債	9.4%
3	15 政保政策投資B	特殊債	8.3%
4	149 政保道路機構	特殊債	5.4%
5	152 政保道路機構	特殊債	3.2%
6	39政保地方公共団	特殊債	2.4%
7	94 丸紅	社債	2.1%
8	11 国際協力機構	特殊債	2.1%
9	11 セブン&アイ・ホールディングス	社債	2.1%
10	16 三菱ケミカルホールディングス	社債	2.1%

<組入銘柄数 19 銘柄>

※比率はすべて純資産総額対比
※比率の合計は100%にならない場合があります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

グローバルCBオープン

●高金利通貨コース ●円コース

追加型投信／海外／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

（マネープールファンド）

追加型投信／国内／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

マネープールファンドの目的

当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

マネープールファンドの特色

1. マネープールファンドは、キャッシュ・マネジメント・マザーファンドへの投資を通じて、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
 - ・マネープールファンドのお買付けは、マネープールファンドを除くグローバルCBオープンのファンドからスイッチングした場合に限定します。また、グローバルCBオープンに新たなファンドが追加された場合は、当該ファンドがスイッチングによるお買付け対象ファンドに追加されることがあります。
2. マネープールファンドの決算日は、毎年5月、11月の19日（休業日の場合は翌営業日）とします。
 - ・委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

マネープールファンドの投資リスク

（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。
 - 流動性リスク ■金利変動に伴うリスク ■信用リスク

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

グローバルCBオープン

●高金利通貨コース ●円コース

追加型投信／海外／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

（マネープールファンド）

追加型投信／国内／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

ファンドの費用（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）

投資者が直接的に負担する費用

●購入時手数料

[各コース]

購入価額に3.85%（税抜き3.5%）を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

購入時手数料は販売会社によるファンドの募集・販売の取扱い事務等の対価です。

[マネープールファンド]

ありません。

※マネープールファンドへの取得申込みは、スイッチングの場合に限りです。

※スイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。

●信託財産留保額 ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

●運用管理費用
(信託報酬)

各コース

ファンド

ファンドの純資産総額に年1.0725%(税抜き0.975%)の率を乗じた額とします。運用管理費用(信託報酬)は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

<運用管理費用(信託報酬)の配分(税抜き)>

支払先	料率	役務の内容
委託会社	年0.35%	ファンドの運用およびそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面等の作成等の対価
販売会社	年0.60%	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	年0.025%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価

※上記の配分には別途消費税等相当額がかかります。

投資対象とする投資信託

年0.67%程度*

実質的な負担

ファンドの純資産総額に対して年1.7425%(税抜き1.645%)程度*

*当ファンドが投資対象とする投資信託の管理報酬等には関係法人により下限金額が設定されているものがあり、ファンドの純資産総額等によっては、年率換算で上記の料率を上回る場合があります。

マネープールファンド

●ファンドの純資産総額に以下の率を乗じた額とします。運用管理費用(信託報酬)は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

●信託報酬率は、各月の前月の最終5営業日間の無担保コール翌日物レートの平均値に0.66(税抜き0.60)を乗じた率とし、当該月の第1営業日の計上分より適用します。ただし、年0.66%(税抜き0.60%)を上限とします。

<運用管理費用(信託報酬)の配分>

支払先	純資産総額に上記の率を乗じた額を下記の比率で配分します	役務の内容
委託会社	45%	ファンドの運用およびそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面等の作成等の対価
販売会社	45%	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	10%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

次ページに続きます。必ずご確認ください。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

グローバルCBオープン

- 高金利通貨コース ●円コース

追加型投信／海外／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

（マネープールファンド）

追加型投信／国内／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

ファンドの費用（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）

前ページからの続きです。必ずご確認ください。

● その他の費用 ・手数料	以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。 ● 監査法人等に支払われるファンドの監査費用 ● 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料 ● 資産を外国で保管する場合の費用 等 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 ※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。
------------------	---

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みメモ（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）

- 信託期間 2021年11月19日まで（2011年11月30日設定）
- 購入単位 お申込みの販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金単位 お申込みの販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
- 申込不可日 [各コース]
以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。
 - ニューヨーク証券取引所の休業日
 - ニューヨークの銀行の休業日
 - 英国証券取引所の休業日
 - ロンドンの銀行の休業日
 - 12月24日
- 決算日 [各コース]
毎月19日（休業日の場合は翌営業日）
[マネープールファンド]
毎年5月、11月の19日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配 [各コース]
年12回決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。（委託会社の判断により分配を行わない場合があります。）
[マネープールファンド]
年2回決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。（委託会社の判断により分配を行わない場合があります。）
（共通）
分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。
分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。
※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

グローバルCBオープン

●高金利通貨コース ●円コース

追加型投信／海外／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

（マネーボールファンド）

追加型投信／国内／債券（課税上は株式投資信託として取り扱われます）

投資信託に関する留意点

○投資信託をご購入の際は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の本支店等にご用意しております。

○投資信託は、元本保証、利回り保証のいずれもありません。

○投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。

○投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

○銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

○当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

委託会社およびその他の関係法人

■委託会社（ファンドの運用の指図を行う者）

三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会／一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

■受託会社（ファンドの財産の保管および管理を行う者）

三井住友信託銀行株式会社

■販売会社

取扱販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○		○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○		○	○

※販売会社によっては、お取り扱いを行っていないコースがあります。詳しくは各販売会社にお問い合わせください。

(50音順)

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。